

第24回広島市公文書館運営委員会の開催について（お知らせ）

1 概要

公文書館の運営に関する重要な事項について、市長の諮問に応じて調査又は審議をします。

2 開催日時

令和8年3月17日（火） 13時30分から14時30分まで（1時間程度）

3 開催場所

広島市公文書館8階 研修・会議室

（広島市中区大手町四丁目1番1号 大手町平和ビル8階）

4 委員

別紙のとおり。

5 議題

- (1) 令和7年度の運営状況について（公開）
- (2) 公文書管理方法の見直しについて（非公開）

6 一般傍聴

会議の当日、次の要領により一般の方の傍聴を受け付けます。

- (1) 傍聴者の定員 10名
- (2) 受付

13時00分から13時20分まで、会場で先着順に受け付けます。

受付終了時刻までに定員に達したときは、その時点で受付を終了します。

- (3) 傍聴者の遵守事項

会場に傍聴者の遵守事項を掲示しますので、傍聴者はこれを守り、会議の円滑な進行・運営に御協力ください。

7 お問い合わせ

企画総務局公文書館歴史情報係

電話：（082）243-2583（直通）、FAX：（082）542-8831

Eメールアドレス：koubun@city.hiroshima.lg.jp

広島市公文書館運営委員会委員名簿

(令和6年12月10日現在 50音順)

氏名	所属・職名
あんどう ふくへい 安藤 福平	元広島県立文書館副館長
いしだ まさはる 石田 雅春	広島大学75年史編纂室准教授 (広島大学文書館副館長)
かつべ まこと 勝部 真人	広島大学名誉教授
かみどい ようこ 上土井 陽子	広島市立大学情報科学研究科准教授
くぼた あきこ 久保田 明子	広島大学原爆放射線医科学研究所 附属被ばく資料調査解析部助教
にしもと まさみ 西本 雅実	元中国新聞社特別編集委員

令和7年度の運営状況

令和7年度では、以下の事業を実施した。

1 被爆80周年記念事業「平和記念都市広島」の編集・発行

Web版小冊子「平和記念都市広島」は、被爆の実相を広く伝えるとともに、広島を歴史を若い世代や国の内外から広島を訪れる人々に分かりやすく伝えるため、城下町から始まり被爆、復興を経て、平和記念都市として歩みを進める広島の歴史を、写真や絵図等を使用してコンパクトに編集した。海外から広島を訪れる人々にも分かりやすく伝えることを目的とするため、英語版も作成した。令和8年3月中に公文書館のホームページに掲載して公開予定。

2 展示会の開催

(1) みづま工房写真コレクション寄託記念 Part2「広告屋が見てきたもう一つの広島」

令和7年3月10日（月）から令和7年11月21日（金）までの期間、大手町平和ビル7階において企画展示を行った。昭和30年代から40年代までに撮影された写真の中から、広島の食文化の発展や余暇活動の多様化、令和7年3月に新たに開業した広島駅（当時は広島民衆駅）周辺の移り変わりなどをテーマに構成した。

(2) フィルムのなかの日常～カメラと暮らした昭和の記憶～

令和8年3月9日（月）から令和8年7月10日（金）までの期間、大手町平和ビル7階において企画展示を開催中である。平成26年度から令和6年度までに当館に寄贈された写真資料の中から、昭和の広島に暮らした6人のカメラ愛好家たちによる写真58点を紹介している。

3 広島市写真資料保存センターの運営

市民等が写真資料をオンラインで容易に利活用できるよう、国立国会図書館が運営する「ジャパンサーチ」上で当館及び広島市のページを作成・公開し、市関係施設が保有している写真資料を横断検索できる体制を整えた。令和8年1月には広島平和記念資料館との連携を行ったところである。来年度以降、他の市関係施設とも調整を行い、連携機関を増やしていく予定である。

4 資料保存のための取組

劣化の進行した資料や利用頻度の高い貴重資料については、利用による劣化・破損を防ぐため、業者委託等によりデジタルデータを作成した。

第24回広島市公文書館運営委員会 会議要旨

1 開催日時

令和8年3月17日（火） 午後1時30分から午後3時まで

2 開催場所

広島市公文書館 8階 研修・会議室（大手町平和ビル8階）

3 出席委員

勝部真人（委員長）、安藤福平、石田雅春、上土井陽子、久保田明子、西本雅実

4 議事等（公開・非公開の別）

- (1) 令和7年度の運営状況について（公開）
- (2) 公文書管理方法の見直しについて（非公開）

5 傍聴者

なし

6 会議資料

- 資料1 令和7年度の運営状況 【公開】
資料2 公文書管理方法の見直し 【非公開】

7 委員意見

議事1及び2について報告し、以下の助言を得た。

(1) 議事1 令和7年度の運営状況について 【公開】

ア 被爆80周年記念事業「平和記念都市広島」の編集

- (ア) Web上で公開すると、たくさんの方に伝えられる一方で不正アクセス等の外部からの攻撃が予想されるので、対策を考えた方がよい。
- (イ) 多くの方に見てもらうためチラシ等でも広報するとよい。修学旅行に来る学校で活用できるというもある。
- (ウ) Web上に掲載するPDFについては、客観的な数値としてダウンロード回数を把握できるようにした方がよい。

イ 資料保存のための取組

原爆体験記の生原稿は大変貴重であり、デジタル化するとよい。

(2) 議事2 公文書管理方法の見直しについて 【非公開】